

---

# Mr. Suicideの見た夢

猫乃アキヒト

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Mr. Suicideの見た夢

### 【Nコード】

N2654S

### 【作者名】

猫乃アキヒト

### 【あらすじ】

コレが夢なのか本当なのか、決めるのは全て君次第。

目を開けたまま見た夢は、灰色の世界が広がっていました。

ここは奇妙な世界です。

哀しそうに、一生懸命に踊る人達。  
それを見ながら嗤っている僕を見ている僕。

「何故彼らは踊っているのですか」

僕は老婆に尋ねます。

「生きているからですよ」

「では、何故あんなに哀しそうな顔をしているのですか」  
「生きている事が哀しいからですよ。あなたも、私も」

そう言っつて、老婆も踊りの中に加わりました。

僕も一緒に踊りました。

僕はそれを見て嗤っています。

ここは奇妙な世界です。

色の着いている女は「女王様」と崇められていました。

仮面の様な笑顔で女は微笑みます。この世界ではそれを美しいと言っそうです。

僕は紳士に尋ねます。

「何故あの様な表情が美しいのでしょうか」

「真実の微笑みなどんでもない。何を考えているのか分からぬ、あの絵に描いたような微笑みが素晴らしいのです」

紳士は力強く僕に説きます。僕は大いに賛同して頷きました。

女に求婚をする僕を見ている僕。

女はまた微笑んでそれを受けました。皆、哀しそうな顔で祝います。

ここは奇妙な世界です。

僕は老人に尋ねます。

「ここは一体、どこなのでしょう」

老人は答えます。

「ここは君の夢の中。目を開けているつもりでも、意識はピッタリ閉じている」

「では、僕は眠っているのですか」

「いいや、眠っていないさ。眠っている時に見るものだけが夢ではない」

老人はニツコリ笑って僕を見ます。

「コレが夢なのか本当なのか、決めるのは全て君次第。

目を開けているときに夢で、閉じているときに本当でも。

目を開けているときに本当で、閉じているときに夢でも。

目を開けても閉じてもずっと本当でも。

目を開けても閉じてもずっと夢でも。

君が決めれば本当は消える。

君が消えれば夢は消える。

世界はずっと本当になる。

世界はずっと夢になる。」

白い太陽が沈んでゆきます。

黒い海がざわつきます。

「僕が決めることなのでしょうが」

「君にしか決められない事だ」

白い太陽が沈んでゆきます。

黒い海が荒れ始めました。

僕はゆっくり答えました。

「僕にとっての本当はここです」

老人はとても嬉しそうな顔をしました。

「そうかい、それは素晴らしい」

白い太陽が昇ってゆきます。  
黒い海は穏やかになりました。

ここは奇妙な世界です。

もう夢を見ることも無いでしょう。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2654s/>

---

Mr. Suicideの見た夢

2011年4月6日22時08分発行